

SENPAI INTERVIEW {Uターン編}

青森県の暮らしやすさ・働きやすさ

センパイインタビュー



Profile



材 株式会社
デザイナー(Graphic・Web)
しもだいら
下田 来渚さん

八戸市出身。八戸学院光星高等学校卒業後、「あら、りんご。」青森奥入瀬溪流店勤務を経て、関西のデザイン専門学校に進学。2024年にUターン。三沢市の企画制作会社「材」でデザイン業務に携わりながら、フリーのデザイナーや「第21代ミスりんごあおもり」としても活動中。

Q1

高校時代の将来のイメージは？

子どものころから絵を描くことが好きで、高校時代からInstagramで青森の魅力や日常などをオリジナルキャラクターを通して発信していたため、将来はデザイン系の仕事で青森に貢献できたらと思っていました。当時は、美術館やアートイベントに出かけて多くの作品にふれることを心がけていました。

Q2

Uターンした理由は？

タレントの王林さんが自分の言葉で、青森の魅力を発信する姿に憧れ、私も国内外に大好きな青森の素晴らしさを伝えたいという思いがありました。そこで、地元に戻り、関西の専門学校で学んだ知識を生かしてデザイナーとして働きながら、青森をPRする活動に挑戦したいと思ったからです。

Q3

現在の仕事や活動内容は？

会社ではチラシやパンフレットのデザイン、LINEスタンプのイラスト制作、Instagramの運用などを担当しており、個人ではフリーランスのデザイナーとして活動しています。このほか、「ミスりんごあおもり」として、国内外での青森りんごのPRイベントや食育活動にも参加しています。

Q4 青森でデザイナーとして働く魅力は？

奥入瀬溪流の近くで見た星空など、青森の自然からインスピレーションが湧くことがたくさんあります。台湾や香港のように、青森への認知度が高い国や地域の人たちに対して、魅力を発信できる可能性があると思います。



Q5 高校生へのメッセージ

大阪での学生時代に、偶然立ち寄ったカフェのオーナーとの出会いをきっかけに、デザイン事務所でのインターンシップを経験しました。自分が興味のあることを積極的にまわりに伝えることで、チャンスが巡ってくるかもしれません。悩んでいる時間があれば、まずは一歩踏み出し行動してみよう！というチャレンジ精神で臨んでみてください！

取材してくれた人は？

High School Student Interviewer.



八戸工業大学第二高等学校1年

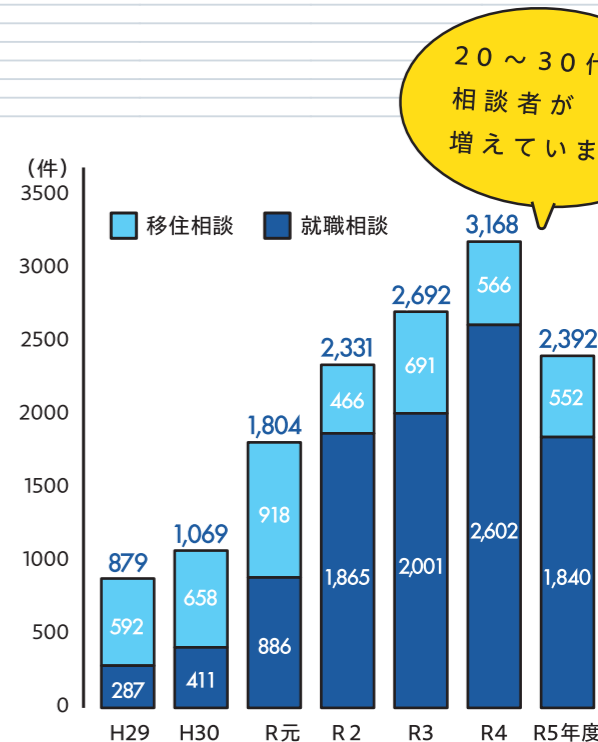


上: 小島 琴春さん
左: ゼブ サニアさん

Data:

いつか
青森で暮らしたい

県外からも青森へのUターンや移住に向け、動き始める人が増加!



※青森暮らしサポートセンターでの相談対応件数
※イベントでの相談対応を含む

青森県にUターンしたくなったとき

青森県を離れる人も、将来地元に戻りたいと考えることがあるかもしれません。Uターンしたいけど、何から始めたらいいの？仕事はどうしたらいいの？そんなときは、「青森暮らしサポートセンター」(東京・有楽町)へ相談!青森県へのUターンについて相談員が個別にサポートします。

TASHI NO MIRAI WATASHI NO MIRAI WATASHI NO MIRAI WATASHI NO MIRAI